

平成24年3月21日

各位

会社名 株式会社ミライト・ホールディングス
代表者 代表取締役社長 八木橋 五郎
(コード番号 1417 東証・大証第一部)
問合せ先 取締役経営企画部長 鷲山 幾男
(電話番号 03-6807-3133)

ミライトグループの事業再編成に関するお知らせ

当社は、平成24年度中に予定しているグループの事業再編成につきまして、本日開催の取締役会において、下記の方角で検討することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業再編成の内容

当社グループは、平成22年10月の経営統合以来、「総合エンジニアリング&サービス会社」の実現を目指し、シナジーの追求と経営の効率化に取り組むとともに事業の再編成について検討してまいりました。

その結果、ミライトブランドの価値向上とグループの一体的な運営をさらに進めるため、本社を東京においてNTT固定通信事業、モバイル通信事業、ICT・総合設備事業等を展開する会社（ミライトA（仮称））と、本社を大阪においてNTT固定通信事業、モバイル通信事業、ICT・総合設備事業等を展開する会社（ミライトB（仮称））の2社体制に移行すべきとの結論に至りました。（別紙参照）

ミライトAには事業推進の立場からグループ総体としての事業開拓・総合調整の機能を付与してミライトBとの一体的な運営を行うこととし、市場環境やお客様動向に対応した最適な事業分担を行って全体最適を追求することにより、ミライトトータルとしての企業価値の向上に取り組んでいくこととします。

また、グループの一体的な業務運営を進めるため、ブランド、人事制度、社内情報システム等の共通基盤についても統一し、共通系業務についてはシェアードサービスセンタに集約して業務の効率化を図ります。

2. 事業再編成の経緯

当社グループは、3事業会社の統合シナジーを追求し、事業分野を基軸として経営の強化、効率化、生産性の向上を図るため、事業の一体的運営の前提のもと3つの会社に再編成することを平成23年5月に発表いたしました。

しかし、スマートフォンの急速な普及によるトラヒックのオフロード対策や、ネットワークとコンピュータが融合したクラウドコンピューティングの拡大など、市場は従来の境界を越えた各種分野の融合（コンバージェンス）が進展しています。このような様々な市場の変化に柔軟に対応するため、ミライトグループとして各事業分野をより総合的な形で

効率的にビジネスが展開できる形態にする必要があることから、一体的運営の考え方を先に進め、3社体制から上記2社の体制に移行することがお客様のサービス向上、競争力強化のため必要であるとの結論に至りました。

当社グループは、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、お客様から最高の満足と信頼を得られる企業であり続けるために、「ミライトグループは一体」の考えのもと、これまでに培った技術や経験、顧客基盤、人材等の経営資源の全体最適化にこれからも努め、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

3. 事業再編成の予定時期

平成24年10月1日を目途としています。

4. 業績への影響

この事業再編成は、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、中長期的な成長を実現するために行うものであり、平成24年10月1日に実施することから、平成23年度の連結業績に与える影響はありません。

なお、平成24年度の連結業績に与える影響につきましては、別途お知らせいたします。

以上

新たな事業再編成スキーム

お客様

ミライト統一ブランド

(株)ミライト・ホールディングス

(コーポレート・ガバナンス/グループ経営戦略/株主等対外責任に特化)

(株)ミライトA(仮称)

グループ内総合調整

グループ総体の事業開拓
(新規分野、M&A)

事業推進

総合エンジニアリング
&
サービスの提供

本社:東京

(株)ミライトB(仮称)

事業推進

総合エンジニアリング
&
サービスの提供

本社:大阪

シナジーの追求

- ・業務の標準化・集約
- ・ロケーションの統合
- ・稼働の協力体制
- ・営業強化

プラットフォームの共通化

- ・人事制度の統一
- ・共通社内システムの構築
- ・シェアード・サービス化